次のページ

住民投票で若者の関心が低いと懸念されるが

エンジェル千代子 議員

問：エンジェル千代子議員

町長は、6市町村の「合併に踏み切る」決断をしたが、町づくりのビジョンは。住民投票に対する若者の関心の低さを懸念しているが、その対策は。

答：矢嶋町長

住民参加による、豊かで誰もが安心して暮らせる、町づくりがビジョン。18～19才の対象者400人余りと永住外国人22人に対して、合併資料を郵送する。若者が多く所属している体育団体などに、出前講座の利用を依頼する。借金を特例債で消すとは思わないでほしい。そのことを負に考えないように、町の説明会の席で、きちんと申し上げてゆく。

問

境方面にも児童クラブを、との要望があるが。

答：小松教育長

開設場所と、要望人数の制約があり、今のところ難しい。富士見小の利用をするよう考えている。自分たちの力でできることをまずやってみる努力をして欲しい。

問

増築を予定のコミュニティ・プラザの構想は。

答：教育長

図書館南側の庇部分を囲って、閲覧室とする予定。

問

清泉荘に児童館を併設できないか。

答：町長

児童館には、管理者の外に指導員の配置と、子供用遊具や本などの設置も必要。指導面・管理面での困難が予想され、設置は難しい。

問

子供を取り巻く環境の難しい現在、教育に対してどんな理念で臨むのか。

答：教育長

人・自然・文化に真正面に向かい、「物の心をたずねる教育」を理念としている。

子供が育つ環境……保育園運動会

合併の情報提供は十分か

小林市子 議員

問：小林市子議員

諏訪南インターを町の北玄関口として捉えた、町の将来展望、総合計画の中でオットマコの進出に関し、指導や対応、インフラ整備に関する考えは。

答：矢嶋町長

県の町づくり総合調整要領に基づいて行うことになる。ただし、どんな資本をもって、どういう店を引き連れてくるのか分からない。不透明な部分が多く説明もされていない。対応は県も同じ立場である。よって周辺のインフラ整備については、現時点で大規模開発の要旨に合うのかは、答えられない。

問

町の基本構想・基本計画・中長期実施計画に行政評価システムを導入する考えはあるか。諏訪市などでは導入したが。昨年発行の都市計画マスタープランでもうたっている。

答：町長

現在、財政計画などにまだ導入していないが、後期総合計画では、前期を評価して策定した。

答：植松企画財政課長

導入計画の検討を始めた。早く施行したい。

問

合併問題の住民への情報提供は十分か。任意合併協議会による資料だけでなく、町独自の自立化ビジョンも必要ではないか。住民懇談会で配る資料のバランスがとれていない。合併に賛成する一方的な資料提供は住民の選択を惑わすが。

答：町長

合併しない場合は、このままで行くので資料は不要かと思う。何年か先にこうなるという資料を出す。

まちづくりワーキンググループの勉強風景